

発行  
株式会社 エスクリエイト  
名古屋市中区錦一丁目4番16号 日銀前KDビル4階  
TEL: 052-222-3600 FAX: 052-222-3699  
URL: <http://screate-soft.co.jp/>  
担当: コンサルタント 石垣 智博  
tomohiro.ishigaki@screate-soft.co.jp

## 情報セキュリティのあれこれ

新年度を迎えました。新しい社員の入社、新しい業務のスタート等があり気分が高揚してくる半面、前年度の締め・反省・計画の見直しなど、気が引き締まる時期でもあります。

そして、消費税が8%になりました。先月は、車・家電の駆け込み需要を、ディーラー・家電量販店で目の当たりにしました。駆け込み需要が4月以降の経済にどれくらい影響するのか?これから注視していきたいです。

さて、3月に情報セキュリティに関する事件がニュースになりました(機密情報の持ち出し事件)。もう運用だけではセキュリティ事故を防止することは難しいのかもしれませんが、悪意を持った者に対して防止するのは並大抵ではないですが、システムで対応できるモノを少し紹介したいと思います。

### ◆その1: お済ですか?

Windows XP のサポートが4月9日に終了します。併せて Microsoft Office 2003、Internet Explorer 6 も同日終了します。

2014年4月9日 Windows XP と Office 2003 のサポートがまもなく終了となります。  
長年のご愛顧、誠にありがとうございます。  
**移行を完了されていないユーザーの皆様は今すぐ移行を!**

(日本マイクロソフト社のHPより)

セキュリティ更新プログラムの提供が終了することで、コンピューターウイルスによる情報漏洩やPCの暴走など業務に支障をきたすリスクが高くなります。情報漏洩はその企業だけでなく、取引先への影響、社会的な問題へと発展します。

新しいOS・ソフトへの移行がまだの場合は、移行を検討しましょう。(移行できない場合は、重要な情報の退避、ネットワークに繋がらないなどの対策は必要です。それでもリスクが高いのでお勧めしません。)

さらに、Windows2003 サーバーも2015年7月にサポート終了します。サーバーなので様々な業務で中心的な役割を担っていると思います。慌てないように今からの検討をお勧めします。

古いシステムを使い続けて、セキュリティ問題が起こった場合、使い続けた側がその責任を問われることになりかねません。また、取引先・客はその企業とは付き合いづらくなってしまいます。

先日、「ATMで使用されている組み込み用 Windows XP の延長をマイクロソフトに欧州の銀行が嘆願した」というニュースがラジオに流れていました。まだまだ切り替えが進んでいないことを実感させるニュースでした。もしATMがコンピューターウイルスに侵されたと思うとゾッとします。

### ◆その2: メールアーカイブ

メールアーカイブとは、全社員のメール送受信履歴を保存しておくことです。アーカイブ化を実施する際にはサービス提供会社と相談すると良いでしょう。

目的は次のことが考えられます。

- ① 保管された過去メールより素早いメールデータ復旧 (BCPの観点)
- ② メール監視による、セキュリティ性の向上(抑止力)
- ③ セキュリティ事故があった際のルート特定
- ④ メールデータの保存義務化対応(関税法)

この様に、メールアーカイブ化を実施すると、セキュリティ性の向上だけでなく、BCP、コンプライアンスの対応も一まとめに実施できるメリットがあります。

### ◆その3：クライアント監視ソフト

クライアントの監視ソフトとは、その名の通り、社員が使うPCを監視するものです。目的は情報セキュリティの向上ですが、PC資産管理(ライセンス管理含む)にも利用可能なものもあります。主だった機能は次の通りです。

- ①PCのインストールソフトの制限
- ②Web閲覧・コピー&ペーストなど操作ログの収集
- ③Web閲覧制限(フィルター機能)
- ④CD/DVDドライブ、外部媒体(外付けハードディスク、USBメモリなど)の接続制限
- ⑤印刷制限
- ⑥資産管理

メールのアーカイブ化と同様で、抑止力も期待できます。最近では、モバイル利用(BYOD)にも対応している製品も出てきています。

少しですが、セキュリティに関してシステムで対応できるモノを紹介しました。セキュリティ事故は、損害・信用失墜などにつながり、起こってからでは遅い場合があります。紹介したソフトの導入をしなくとも、これらのソフトがあることを知っているだけでも違います。まずは、情報セキュリティに関するアンテナを立て、受信するようにしましょう。

また、最近のセキュリティ関連ソフトはセキュリティ対策だけではなく付随した機能(セキュリティ+BCP、監視+資産管理)を持つ製品が多いです。セキュリティだけとして考えるのではなく、企業経営・運営の1つのツールとして、考えてはいかがでしょうか。

### 「本は考える為のサプリメント」(その36)

今月は新書を紹介します。先月と同様、タイトルが面白そうだったので手に取りました。組織と人間の問題を、論理と情理に基づいて書きとめたとのこと。(自己啓発として読んでも良い内容だと感じました。)

<子ども病>とは、変化に適応できていない人や組織が、かつての成功モデルにしがみつки、かつて合理的であった、仲間ウチの「一体感」を高めるべく、子供っぽい思考や行動、そして組織のあり方を続けていること。と記しています。



### 「『一体感が』会社を潰す

異質と一流を排除する<子ども病>の正体」

(秋山進 著)

まず、15パターンの子ども組織の事例を「個人がコドモ」「組織がコドモ」「マネジメントがコドモ」という3つの分類に分けて説明しています。(「耳が痛いこと」や「ある・ある」がたくさんでてきます。)

次に、コドモの組織から大人の組織に変わるためのポイントを記しています。

大人の組織を成立させる3つのポイントとして次のことが記載されています。

1. 個人の「自立」と「自律」
2. 目的合理的な思考パターン
3. マネジメントのプロ化

最後に、コドモ組織のなかで大人になる戦略が記されています。

この様に、組織改善について記された書籍かと思いきや、最後には自己啓発的な内容になっています。

よって、本書のターゲットは、組織を立て直したい経営者なのか、マネジメント層なのか、リーダーなのか、ピンとこない感じがしました。

しかし、その分今の立場を選ばず読むことができます。立場によって感じる場所は様々あるのではないのでしょうか。

前向きではあるが色々悶々としている会社員が読むのも良いでしょう。最後の自己啓発的な内容は刺激を受けると思います。

コドモの組織と大人の組織の特徴の対比表(P79)、自立と自律の「3×3」マトリクス図(P87)は参考になります。この本が個人・組織を見直すきっかけになるかもしれませんね。

個人と組織(マネジメント)のプロ化による相乗効果が大人の組織をつくっていく。ということです。

### 編集後記

4月早々の胃腸炎。内臓が痛いとい何もできないですね。最悪の年度スタートでした。その分、これから良いことがあるかなあ。

暖かくなってきますが油断せずに、御自愛ください。(石)

